

クラスだった。

中学で日本一になるような選手は、ほとんどの場合、その数年後には記録が止まってしまいうという。中学チャンピオンは、大抵の人が高校で燃え尽きてしまうのだ。飯塚さんのように、中学、高校、大学と順調に記録が伸びていくことは、陸上の世界では珍しいことらしい。

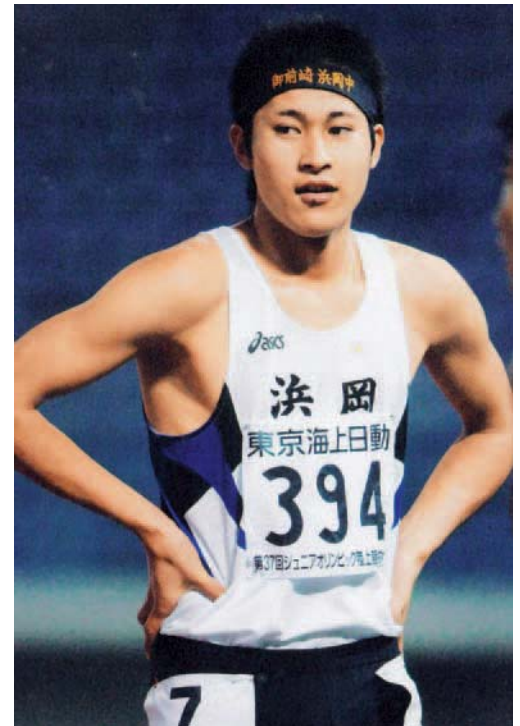
飯塚さんがオリンピックを意識し始めたのは、高校3年生の頃。インターハイや国体などの大舞台で結果を出せたことが自身の大きな励みにもなっていた。

中央大学に進学した飯塚さんは、2010年の7月にカナダのモンクトン市で開催された第13回世界ジュニア選手権で200歳を20秒67のタイムで優勝し、個人短距離種目では日本陸上界初の金メダルをもたらした。このことで、2年後に開催されるオリンピックを身近に感じるとともに、内なる自信は揺るぎないものに変わっていった。

その年の8月、世界ジュニア選手権から帰国した飯塚さんは、ふるさと御前崎市の浜岡総合グラウンドでトレーニングに励んでいた。小さい頃から慣れ親しんだグラウンドで、自らの可能性を確かめるように。

◆飯塚さんが出場したこれまでの主な競技大会と成績

2004年	中学1年生	ジュニアオリンピック100㍍優勝
2005年	中学2年生	ジュニアオリンピック走り幅跳び8位
2006年	中学3年生	ジュニアオリンピック200㍍優勝
2007年	高校1年生	国体200㍍優勝
2008年	高校2年生	インターハイ400㍍リレー3位
2009年	高校3年生	インターハイ100㍍2位 インターハイ200㍍優勝 国体100㍍優勝
2010年	大学1年生	世界ジュニア選手権200㍍優勝 関東学生対校選手権200㍍優勝 関東学生対校選手権400㍍リレー優勝
2011年	大学2年生	日本学生対校選手権200㍍優勝 日本陸上競技選手権200㍍4位 アジア選手権200㍍4位
2012年	大学3年生	日本陸上競技選手権200㍍2位



▲2006年のジュニアオリンピックで優勝

